

# 3Q

【3】つの【Q】uestion

Q：世界で何が起こっているのだろう

Q：自分の身の回りで何が起こっているのだろう

Q：自分にできることは何だろう

総合学科推進部

令和7年11月27日 NO.4



## みさとっこマーケット

@美里町駅東交流センター周辺・美里中学校  
(10月13日)

## ボランティア活動

農林生22名がボランティアとして参加し、受付案内や司会アナウンス、各企画補助などの係に分かれて、開催4年目を迎えた地元美里町のイベントの運営に大きく貢献しました。実行委員を務めた葛西さまよりメッセージをいただきましたので、紹介します。

### みさとっこマーケット × 農林生ボランティア — 自分とまちの“新しい一面”を見つける日 —

みさとっこマーケットは、地域の人・子供たち・学校が一体となってつくり上げる、“美里町がテーマの一日だけのテーマパーク”です。

高校生ボランティアの皆さんには、準備から当日の運営まで、地域の一員として大きな力を発揮してくれました。一方で、報告・連絡・相談がうまくできなかったり、自分事として動ききれない場面も見られましたが、それも社会を学ぶ大切な経験になったと思います。しかし、それもまた“社会と関わる学びの一步”です。大人の目線で求められる責任感やマナーを体感し、次にどう動くかを考えることこそが、成長につながります。

地域での経験を通して、自分の好きなこと・得意なこと・頑張れることに気づいたり、「こんな自分もいたんだ」と新しい発見があったのではないのでしょうか。どんな場面でも、自分の考え方や姿勢次第で、良い出会いや経験を引き寄せることができます。今、自分が住んでいる町(美里町に限らず)の“好きなところ”を見つけ、誇りをもって語れるように、そして卒業後もこの町に関わり続けてくれたら嬉しいです。

みさとっこマーケットは、地域と高校生をつなぐ場所でもあります。これからも一緒に、高校のあるこの美里でもっとワクワクする体験をしていきましょう。

みさとっこマーケット実行委員会一同（文責：実行委員 葛西美智子さま）



子どもたちの笑顔がたくさん  
見ることができた。

地域の方の優しさにふれた。

外（地域）に出て、たくさんの人と関わることで  
学ぶことは多いはず。  
そこで、今・将来、自分にできることを  
見いだしてほしいです。  
ボランティア活動はそのきっかけの1つとなります。

色々な年齢層の方と交流し、  
大変すばらしい経験になった。

たくさんの人とかかわることが  
できて楽しかった。



各学年の取り組みについて紹介します。

## 2 学年

### 〈総合的な探究の時間～美里探究～〉

#### 地域探究フィールドワーク 9月26日(金)

塩竈・多賀城方面、村田・蔵王方面、女川・石巻方面の3コースに3クラスがそれぞれ分かれて、現地を視察してきました。実際に「見て、触れて、考えて」現地で様々なことを吸収し、他の地域を視察することにより視野が広がりました。県内各地の取り組みからヒントを得て、生徒たちそれぞれの心の中に新たな発想や思いが芽生えたようです。各地での学びをグループごとにポスターにまとめ、選ばれたポスターは稲章祭で展示され、保護者の方や地域の方々にご覧いただきました。

伝統ある歴史的な  
景観は観光などに  
活かせる。

自然環境と人々の生活の  
つながりに注目し、  
地域の魅力を伝える  
方法を考えたい。

他地域とのつながりや  
新しい発想を取り入れた提案  
をしていきたい。

美里町の歴史について知ることが、  
今後の探究に生かせるのではないかな。

少子高齢化や人口減少によって  
伝統が継承されにくい現状を  
ふまえ、地域の文化を若い世代  
につなぐ何かを探っていきたい。



## 3 学年

### 〈総合的な探究の時間～系列探究～〉

#### 調査活動報告 9月～10月

校外へ出て行った調査活動についていくつか紹介します。

「探究テーマ」／調査活動内容

- ①「子どもの体力低下について」 ②「子どもの放課後の時間の有効活用について」  
／不動堂小学校の放課後活動へ参加、自分たちが企画したイベントを実施。
- ③「報道やドキュメンタリーについて」  
／河北新報の記者の方へインタビューを実施。
- ④「野良猫の増加について」  
／野良猫の保護について講演を聴き、移動式手術車を見学。
- ⑤「日本の伝統行事について」  
／美里中学校の給食の献立として地域の伝統食のメニューを考案。

校外へ出ることによって、様々な方と出会い、  
貴重な体験をしたり直接お話をきいたり  
自分たちのテーマに関するアクションを  
起こしたりすることができました。  
今後はこの調査内容をまとめ、それぞれの  
発表につなげていきます。

## 1 学年

### 〈産業社会と人間〉

#### 大崎耕土講演会 10月8日(水)

大崎地域が有する地域資源の豊かさとSDGsとの関わりを理解し、深める目的で、「令和7年度大崎耕土講演会」が行われました。大崎市役所産業経済部から講師の先生をお呼びし、ご講演をいただきました。

大崎市が誇る世界農業遺産である「大崎耕土」が、先人の苦労や工夫によってもたらされたものであるという話に、生徒たちは真剣な表情でメモを取りながら聴き入っていました。

1・2年生のみなさんは、  
上の学年（少し先）の取り組みに注目してみましょう。

